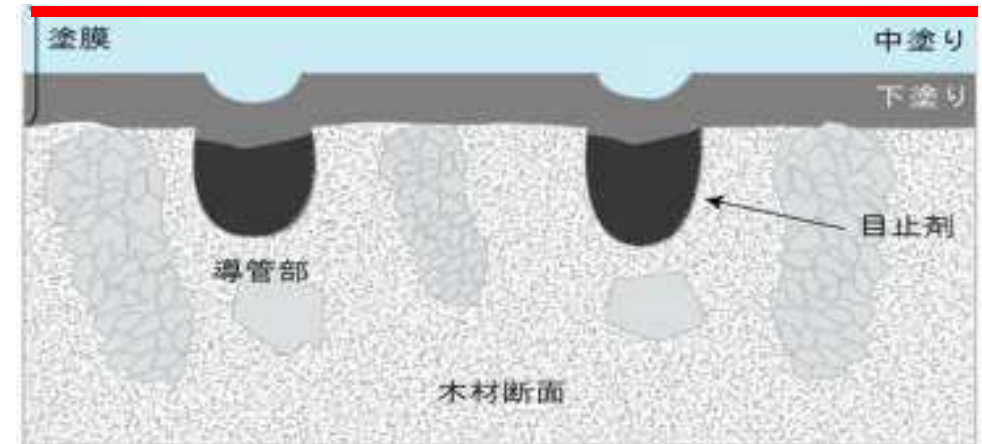
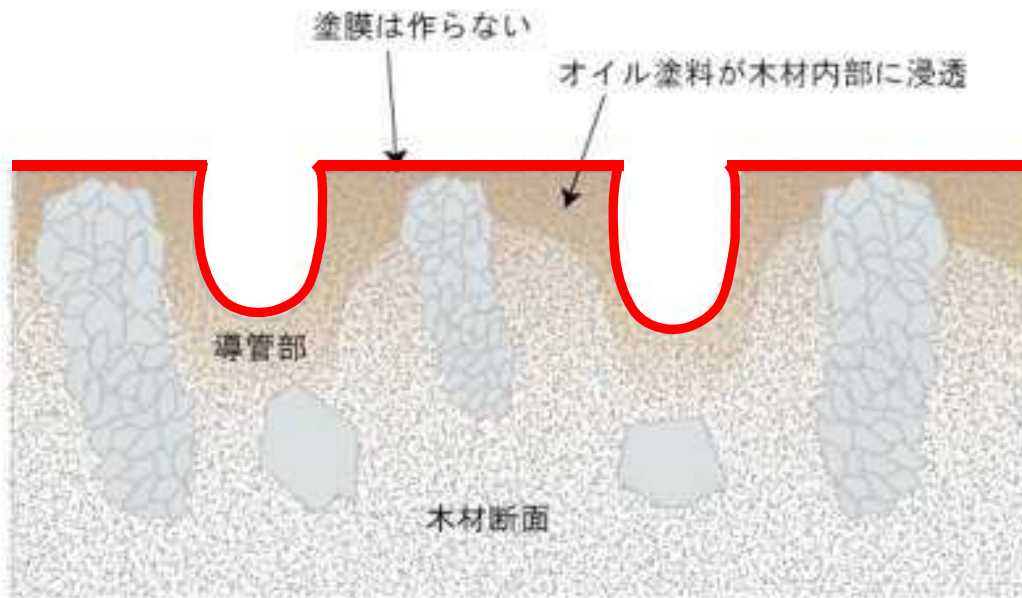


複合フローリング 40・20・06・10シリーズの3つの塗装の違いについて

塗装	特長	メリット	デメリット	メンテナンス方法
<p>自然塗装 (クリアオイル)</p> <p>オスモ社製自然塗料</p>	<p>浸透性塗料</p> <p>植物性のオイルを主原料としている。 浸透性の塗料で、表面に塗膜をつくらないため、木質感を損なわない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・塗膜をつくらない塗装なので、自然な木質感が感じられる。 ・浅い傷やシミであれば木の表面を研磨し、再塗装することで補修ができる。 ・木が本来持っている調湿機能を妨げない。 ・素足で歩くとさらっとした感じがする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浸透性の塗料のため、汚れやシミが残ることがある。 ・表面は木の硬さそのものであるため、傷がつくことがある。 ・専用のメンテナンス用品によるメンテナンス（拭き掃除、ワックス）が必要となる。 	<p>専用用品によるお掃除とワックス塗布でお手入れしていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォッシュ&ケア（オスモ社製品） …2週間から月に1回程度 ・ワックスクリーナー（オスモ社製品） …半年から1年に1回程度
<p>ガラス塗装 (Mフリー)</p> <p>日東紡社製 SSGガラス塗料</p> <p>※着色品のガラス塗装は対応できない商品があります</p>	<p>浸透性塗料</p> <p>液体のガラス塗料を木に浸透させている。 自然塗装と同じく、塗膜をつくらないため、木質感を損なわない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワックスを使っていない塗装なので、ワックスを塗る必要はない。 ・塗膜をつくらない塗装なので、自然な木質感が感じられる。 ・浅い傷やシミであれば木の表面を研磨し、再塗装することで補修ができる。 ・木が本来持っている調湿機能を妨げない。 ・素足で歩くとさらっとした感じがする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浸透性の塗料のため、汚れやシミが残る場合がある。 ・水などをこぼした際にすぐ拭き取らないと、シミ跡が残りやすい。 ・表面は木の硬さそのものであるため、傷がつくことがある。（摩耗に対しては多少強い） 	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除は乾拭きもしくは雑巾をきれいな水もしくは中性洗剤を薄めた水で固く絞ってから拭いていただく。 ・ワックスは不要
<p>UV塗装 (クリアコート) (マットコート)</p> <p>UV塗装</p> <p>※着色品のUV塗装は㎡数によって対応できない場合があります</p>	<p>塗膜性塗料</p> <p>紫外線硬化型の塗料で、木の表面に塗膜をつくり、木を傷や汚れから保護する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・木の表面に塗膜があるため、傷や汚れが付きにくい。 ・ワックスを塗る必要がなく、水や汚れがついても拭き取れば、ほぼきれいに汚れが落とせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表面に塗膜がついているため、クリアコートはプラスチックのような見た目となり、マットコートはプリント品のような見た目となる。 ・塗膜があって傷や汚れは付きにくいですが、塗膜に傷がついてしまうと補修ができない。 ・素足で歩くとペタッとくっつく感じがする。 ・調湿機能が低下する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除は乾拭きもしくは雑巾をきれいな水でよく絞ってから拭いていただく。 ・ワックスは不要

オイル塗装・ガラス塗装

UV塗装



※ガラス塗装 = ガラスコーティングではないので、
ご注意ください。